



東証プライム
証券コード：8081

株式会社カナデン

KANADEN

個人投資家向け
会社説明会

2023年12月10日

アジェンダ 個人投資家向け決算説明会

1. カナデンについて

2. 当期の業績について

3. 中期経営計画『ES・C2025』

4. 株主還元

【ディスクレーマー】

当資料は投資家の参考に資するため、株式会社カナデン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2023年12月10日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

1. カナデンについて

会社概要

商号 株式会社カナデン(KANADEN CORPORATION)

設立 1907年 5月15日 (神奈川電気合資会社)

創業 1912年12月18日 (神奈川電気株式会社)

本社 東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟

資本金 5,576百万円

上場市場 東京証券取引所プライム市場 <コード:8081>

代表者 取締役社長 本橋 伸幸

従業員数 連結824名
単体603名 [2023年9月末]

関係会社 子会社：10社 (国内3社、海外7社)

関連会社：1社

その他関連会社：1社 (三菱電機株式会社)
[2023年9月末]

● 116年を超える歴史を有する

● エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー

● 三菱電機(株)の代理店

(仕入高の68.7%を占める 2023年3月期)

(FA機器、産業メカトロニクス、電子機器、設備機器、
空調・冷熱設備、半導体・デバイス 等)

● 顧客数 約2,800社

● 仕入先数 約1,500社

沿革

- 1907年 神奈川電気合資会社創立
- 1912年 神奈川電気株式会社設立
- 1962年 三菱電機株式会社と代理店契約を締結
- 1963年 東京証券取引所市場第二部上場
- 1989年 東京証券取引所市場第一部銘柄指定
- 1990年 株式会社カナデンに商号変更
- 2007年 創業100周年
- 2019年 本社を晴海トリトンスクエアに移転
- 2022年 東京証券取引所プライム市場に移行

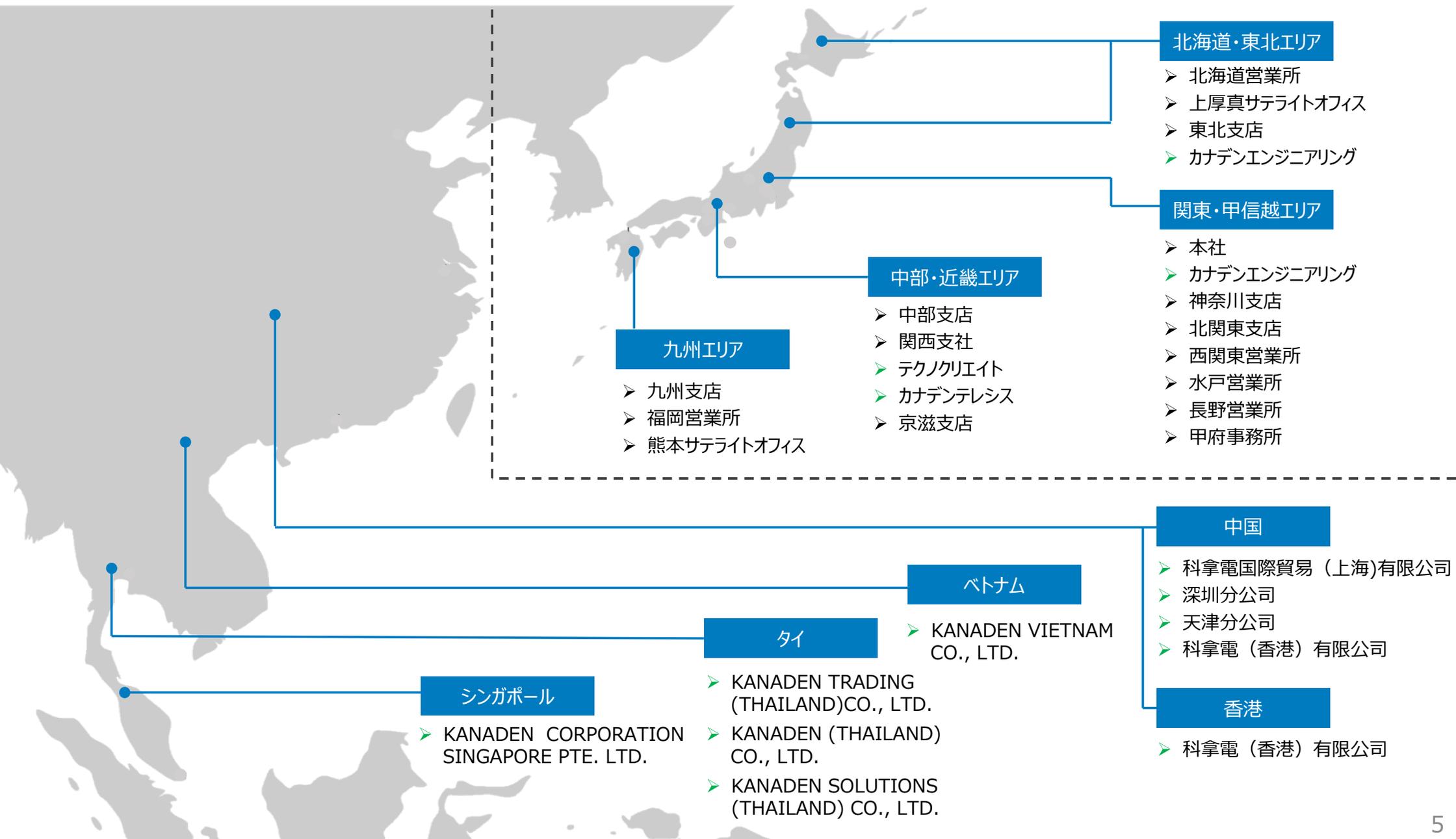


創業時の事務所



晴海トリトンスクエア

グループネットワーク



カナデンの企業理念

KANADEN



技術と創意で一步先の未来へ導く

カナデングループの技術と創意、
そしてパートナー会社の技術を掛け合わせたソリューションで、
世の中をより良い未来へ導いていく。
それがカナデングループの存在意義です。

Creating New Value for Society

お客さまやパートナー会社、ひいては社会全体のために、
常に新しい価値を創造し続ける集団となる。
それがカナデングループのありたい姿です。

エレクトロニクスソリューションズ・カンパニーとは

社会課題の解決につながる技術ソリューションの開発・提供を推進



事業領域

情通・デバイス事業

情報通信や半導体・デバイス分野に新しい技術を取り入れた提案、画像・映像を活用したシステム構築

取扱製品

- ・半導体、電子デバイス
- ・映像、セキュリティーソリューションシステム
- ・電子医療装置等



FAシステム事業

工場自動化、生産設備の監視・制御等のソリューションでものづくりの進化に貢献

取扱製品

- ・FA機器
- ・産業システム
- ・加工機等



インフラ事業

安心・安全で便利なくらしを支える社会システムを構築

取扱製品

- ・交通安全システム
- ・太陽光発電システム
- ・地域防災システム等

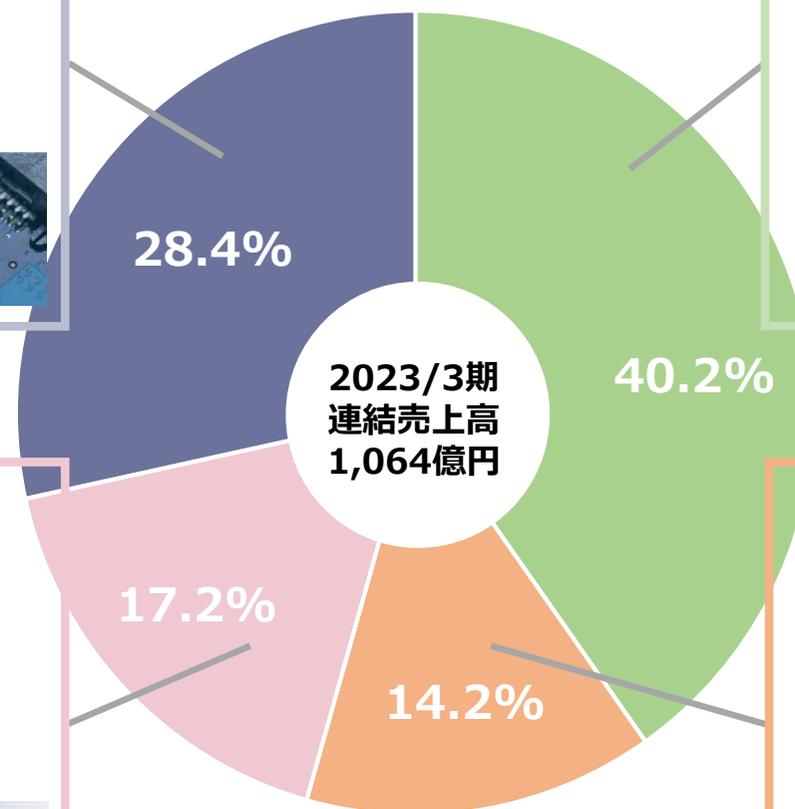


ビル設備事業

ビル全体の設備管理で省エネ・創エネを図るソリューションを推進

取扱製品

- ・電源装置
- ・空調・冷熱機器等



数字で見るカナデン

売上高(予想)

1,150億円

経常利益(予想)

48億円

ROE (予想)
自己資本利益率

6.6%

歴史

116年

従業員数

824名

平均年齢

42.9歳

平均勤続年数

17.8歳

国内拠点数

16拠点

海外拠点
関係会社数

10拠点

※2023年9月末現在

2. 当期の業績について

当期の業績（連結）

	2022/3月期 (百万円)	2023/3月期 (百万円)	2024/3月期 予想 (百万円)	増減率 (%)
売上高	100,834	106,419	115,000	8.1%
売上総利益 (利益率)	14,630 (14.5%)	16,233 (15.3%)	16,700 (14.5%)	2.9%
営業利益 (利益率)	2,846 (2.8%)	3,967 (3.7%)	4,600 (4.0%)	15.9%
経常利益 (利益率)	3,055 (3.0%)	4,244 (4.0%)	4,800 (4.2%)	13.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,922	2,896	3,200	10.5%

財務の状況

財務の特徴

自己資本比率 **59.7%** 流動比率 **208.0%**
 (無借金経営) (2023年9月末)

(単位：百万円)

	2023/3末	2023/9末	増減		2023/3末	2023/9末	増減
流動資産	68,815	61,963	△6,851	流動負債	37,785	29,795	△7,990
商品及び製品	11,370	11,943	573	固定負債	1,129	1,122	△6
固定資産	14,479	14,748	269	負債合計	38,915	30,917	△7,997
有形固定資産	8,541	8,453	△88	株主資本	42,039	43,016	977
無形固定資産	1,281	1,440	158	その他包括利益	2,339	2,777	437
投資その他資産	4,655	4,855	199	純資産合計	44,379	45,794	1,415
資産合計	83,294	76,712	△6,582	負債純資産合計	83,294	76,712	△6,582

事業紹介 FAシステム 1/2

工場自動化、生産設備の監視・制御等のソリューションでお客様のものづくりの進化に貢献

取扱製品

- FA機器
- メカトロニクス製品
(放電加工機・レーザ加工機)
- 工場プラントの電機設備
- 計装機器

主要納入先

- 盤メーカー、生産装置メーカー
- 商社 ・電材店
- 自動車、化学、食品メーカーなど

取扱製品事例



工場生産ライン



シーケンサー



DCS



レーザ加工機

事業紹介 FAシステム 2/2

FAシステム事業

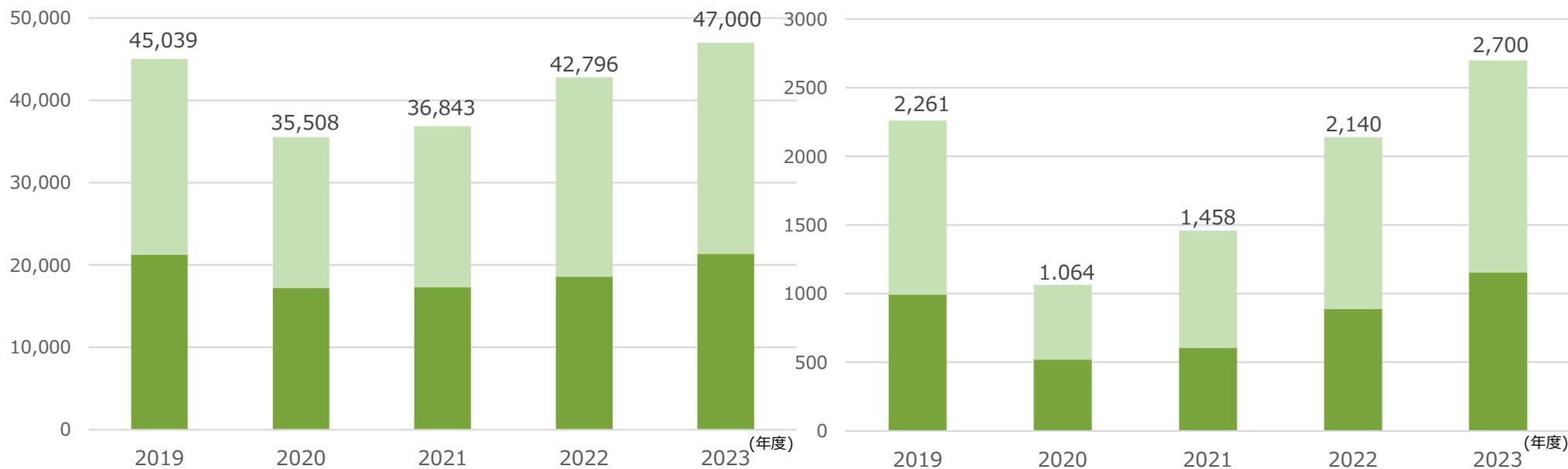
事業環境

部材不足による長納期化、設備投資が年々改善傾向にあり、
主要機器であるコントローラシステム、駆動制御機器が順調に推移

【業績推移】

売上高（百万円）

経常利益（百万円）



※グラフの■は上期、■は下期実績であり、数値は通期合計額を記しております。

事業紹介 ビル設備 1/2

ビル全体の設備管理で省エネ・創エネを図り、 ソリューションを推進

取扱製品

無停電電源装置、太陽光発電システム、昇降機、LED照明、空調機器、低温機器、住宅設備機器、エネルギーマネジメントシステムなど

主要納入先

建設会社 金融業者
電気工事会社 データセンター
管材店など

取扱製品事例



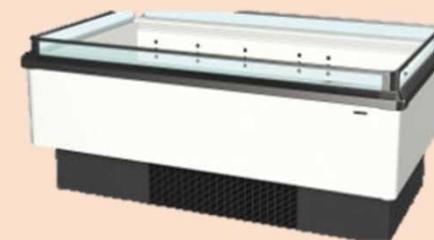
無停電電源装置



昇降機



空調機



ショーケース

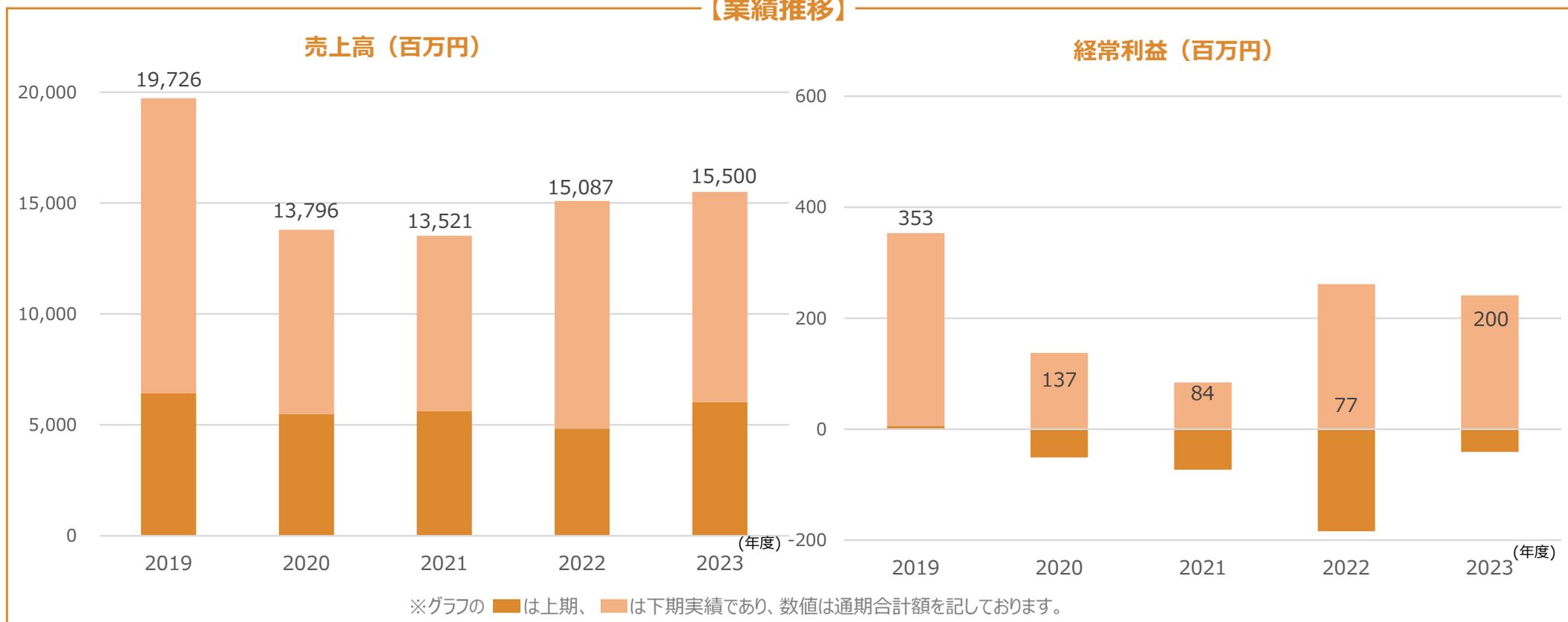
事業紹介 ビル設備 2/2

ビル設備事業

事業環境

リプレイスや再開発案件だけでなく、省エネを目的とした設備投資が改善傾向にあり、空調機器をはじめデータセンター向け無停電電源装置やオフィス・倉庫向けLED照明や空調機器は堅調に推移。

【業績推移】



事業紹介 インフラ 1/2

安心・安全で便利なくらしを支える 社会システムを構築

取扱製品

鉄道車両用電機品、受変電設備、
交通安全システム、航空管制システム、
太陽光発電システム、
地域防災システムなど

主要納入先

鉄道事業者

官公庁

バス運行事業者など

取扱製品事例



車両用空調機



バス電光掲示板



LED道路照明器具



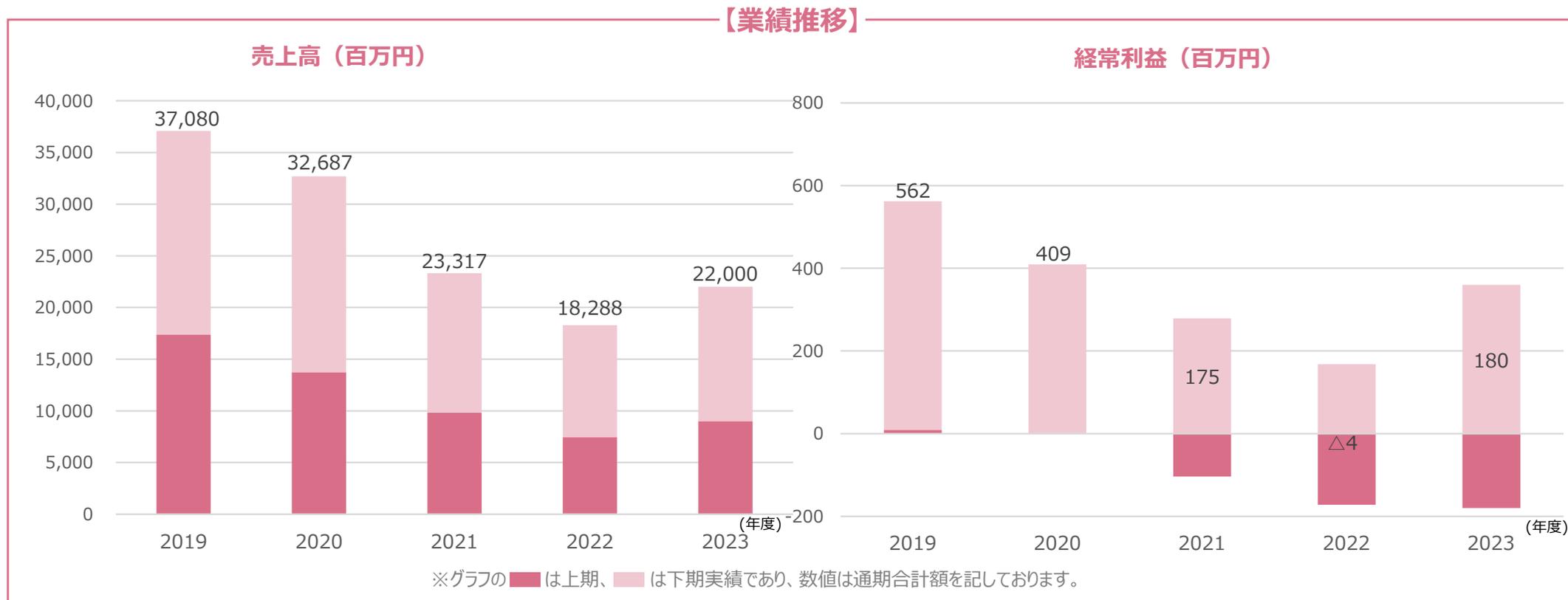
急速充電器

事業紹介 インフラ 2/2

インフラ事業

事業環境

交通分野は、無線通信機器が減少傾向にあるものの、車両の改造案件により車両機器が堅調に推移
 社会システム分野では、官公庁案件が増加しており、安全・安心・効率化需要が堅調に推移



事業紹介 情通・デバイス 1/2

画像・映像を活用したシステム構築、 製品用途に応じたモジュールビジネス

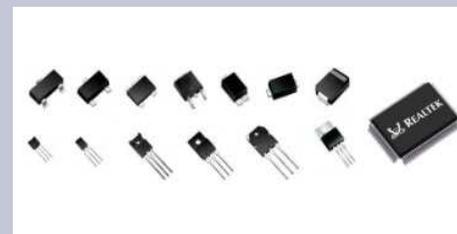
取扱製品

映像システム、セキュリティーシステム、
情報通信機器、
電子医療装置、半導体、
電子デバイス品など

主要納入先

産業機器メーカー OA機器メーカー
家電メーカー 流通、金融、ビル事業
病院など

取扱製品事例



半導体



ビデオマネジメントシステム



無線モジュール



電子医療機器

事業紹介 情通・デバイス 2/2

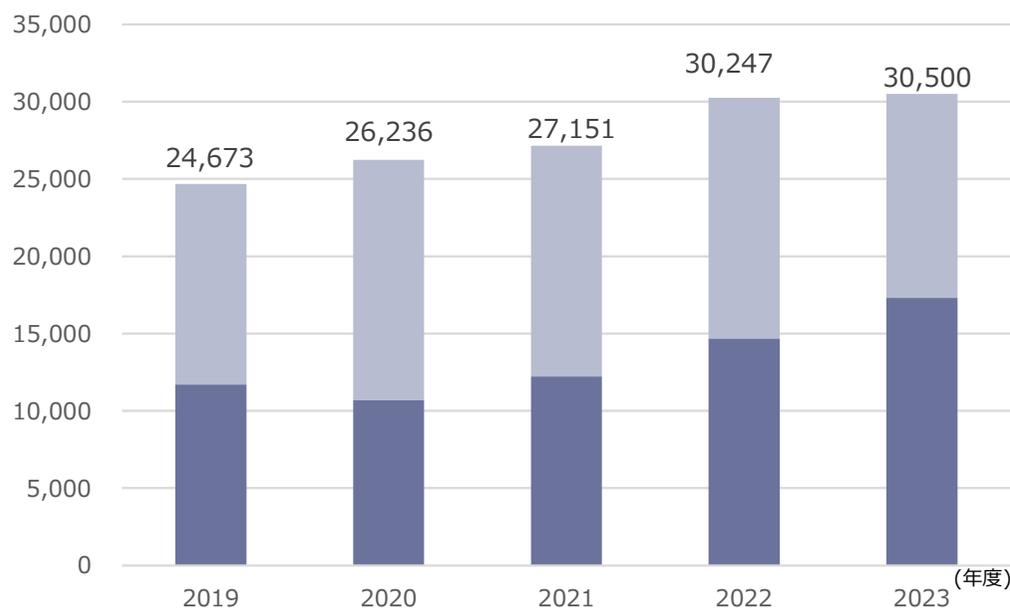
情通・デバイス事業

事業環境

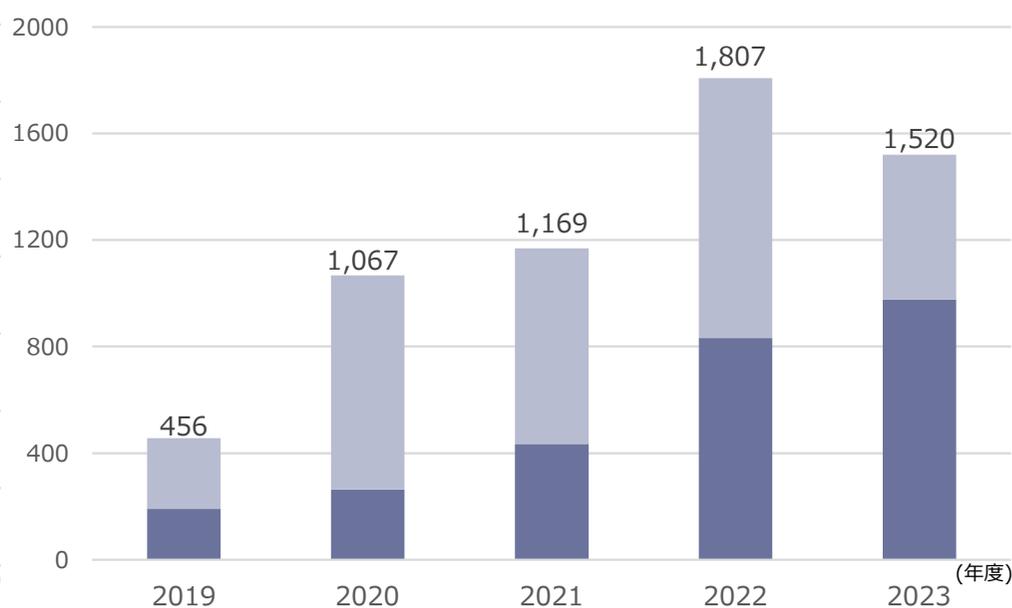
直近2年間順調に推移していたHDD用ICが需要減少により低調に推移
 堅調を維持していた産業機器向けパワーデバイスが上期後半より、在庫調整の影響を受けている
 空調や家電製品など、あらゆる製品に組み込まれるIoT機能を実現する無線モジュールビジネスが順調に拡大

【業績推移】

売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



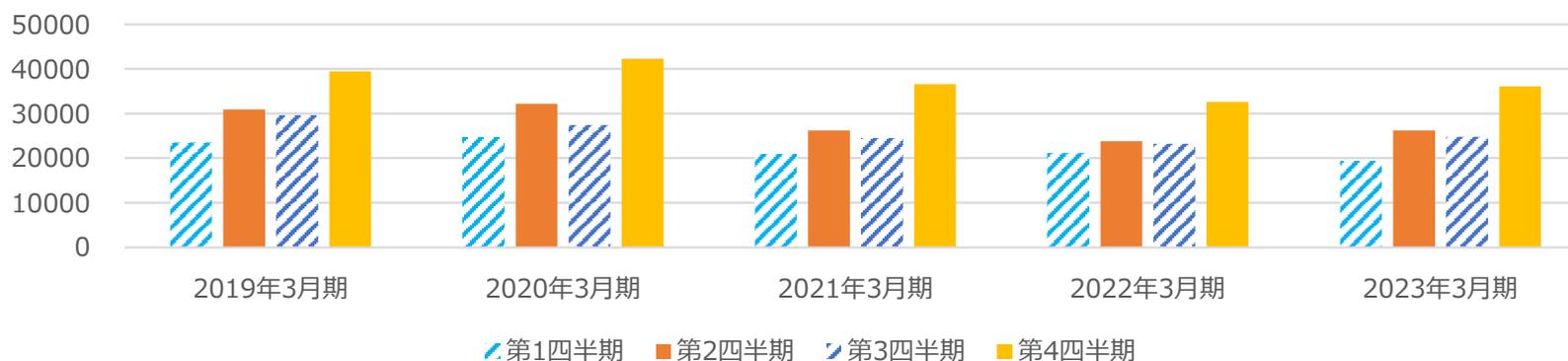
※グラフの■は上期、■は下期実績であり、数値は通期合計額を記しております。

業績の特徴

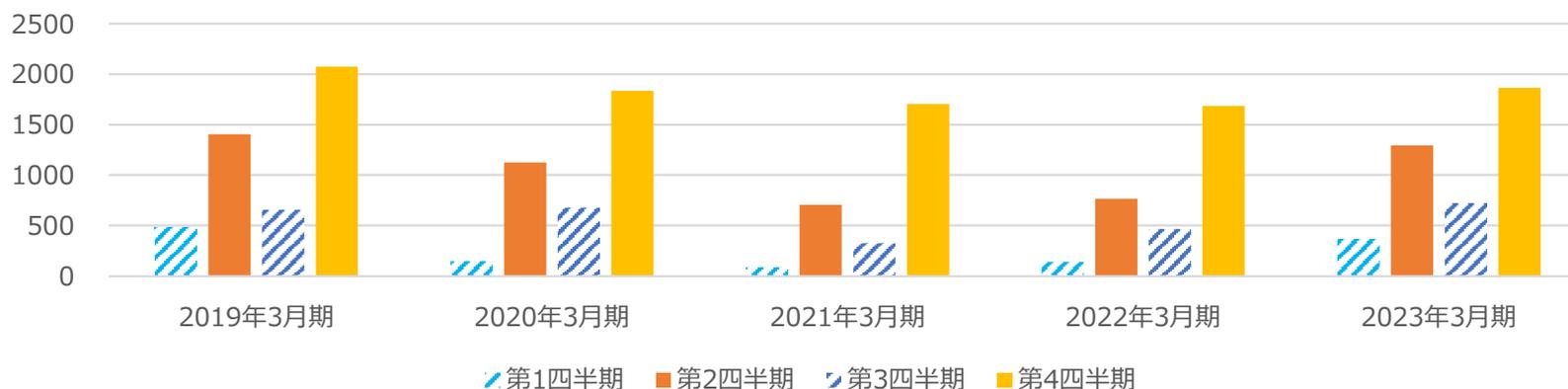
期末集中の傾向（9月末、3月末に集中）

ビル設備やインフラ事業の案件は、期末、年度末に完了することが多く、売上高、利益共に2Q、4Qに集中する傾向

売上高（過去5年）



経常利益（過去5年）



3. 中期経営計画 『ES・C2025』

中期経営計画『ES・C2025』1/3

中期経営計画

Electronics Solutions・Company 2025

(2021年度～2025年度)

基本方針

SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献し持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となる

基本戦略①

深化・進化による競争力の強化

安定した収益構造を基盤に着実な「進化」を図る

進化

製品と技術を組み合わせたソリューション提案

M&Aによる事業拡大

深化

既存事業の稼ぐ力を強化

セグメントを横断した部門間連携による複合販売

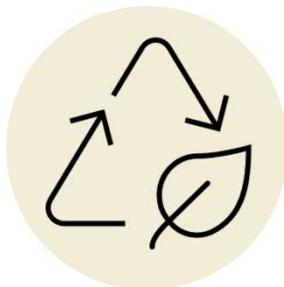
成長
投資

中期経営計画『ES・C2025』2/3

基本戦略②

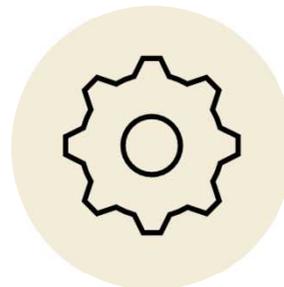
社会課題の解決を図るため、今後も成長性が高い分野への取り組みを強化

環境ビジネス



省エネ製品を活用した
製品提案
自然エネルギーの
活用推進

自動化



自動化による生産性
の向上

基本戦略③

カナデンDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 デジタルを活用した生産性の向上

インサイドセールス



製品サイトを活用した
見込み客へのアプローチ

従来のフィールドセールスと融合した
ハイブリット型の営業活動

SFAの活用



営業活動業務のデジタル化
営業稼働時間の拡大

顧客情報の一元管理
情報共有、データの分析

中期経営計画『ES・C2025』3/3

基本戦略④

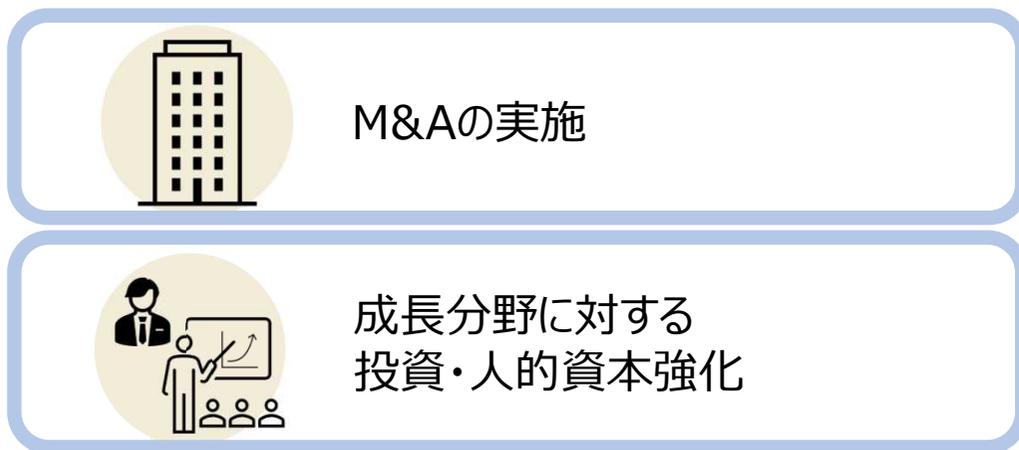
多様な人材が能力を十分に発揮できる風土・仕組みづくり
競争力の源泉 = 新たな価値を創造する「人材」



基本戦略⑤

戦略的投資政策の実行

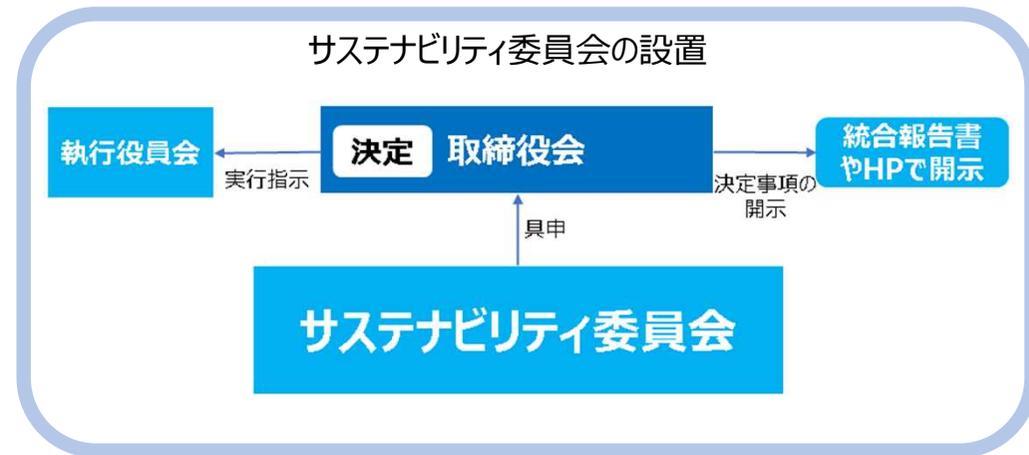
戦略的投資政策等による売上高100億円の創出



基本戦略⑥

公明正大な経営

ガバナンスの強化と倫理観



ES・C2025 基本戦略に基づく施策（セグメント別）

FAシステム

- ・**ソリューション提案力**を強化し、コンポーネントからソリューション、コンサルティングビジネスへの変革を図る。
- ・蓄積した製造現場の知見に加え、**AI・IoT**等の新技術の活用や**自動化**提案によりお客様の課題を解決し、ものづくりの進化に貢献する。
- ・**国内外でのシステム対応力**強化に向け、パートナー企業との連携強化を図る。



ビル設備

- ・ビルマネジメントシステムの展開とZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）提案の強化を図り、環境負荷の低いエネルギー利用の普及を促進し**快適性の向上**と**消費エネルギーの抑制**を両立させる。
- ・製品、システムの提案から工事、保守サービスを含め**一貫したソリューションの展開**強化。



インフラ

- ・社会インフラとしての「**安心・安全・快適**」を支え、進化させるという使命を果たし続けると共に、交通・公共分野におけるお客様のビジネスモデルの変革に対応し、**従来の領域にとられないソリューション**提案の拡大を図る。
- ・気候関連災害や自然災害に備える**監視・防災・減災**ソリューションの提供により社会や産業の基盤強化に貢献する。



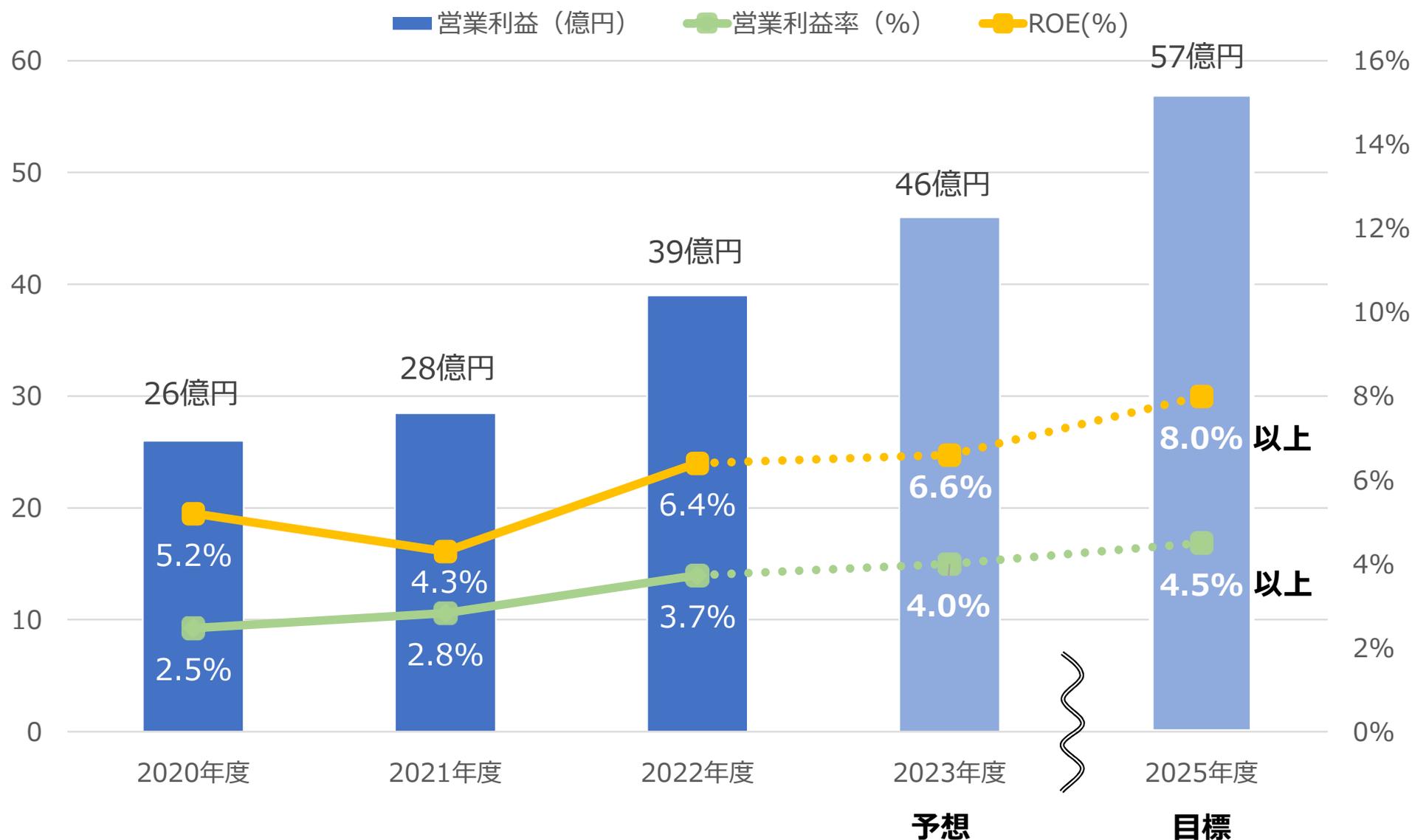
情通・デバイス

- ・**医療・介護・健康**分野におけるデジタル技術を活用したソリューションの提供推進。
- ・セキュリティビジネスから**トータルICTビジネス**への進化デジタル分野への拡大。
- ・IoTデバイスの進化や5Gの導入による、**データの新たな活用**や**連携**方法を可能にする商材の発掘、ソリューションの構築を目指す。
- ・**自動車分野**への参入加速。



中期経営計画『ES・C2025』KPIの進捗状況

営業利益・営業利益率・ROEの推移



基本戦略 取り組み事例 1/2

自動化 移動式卓上ロボット『KaRy』（協働ロボット）

・パートナー企業との共同開発：移動型卓上ロボット

KaRy

・製造現場の自動ロボット導入への課題を解決し、中小企業を中心に自動化を推進



製造現場の自動ロボット導入課題

- ①安価
- ②高速移動
- ③手軽な移動
- ④協働可能



解決



KaRy

基本戦略 取り組み事例 2/2

自動化 食肉加工機へのFA機器納入

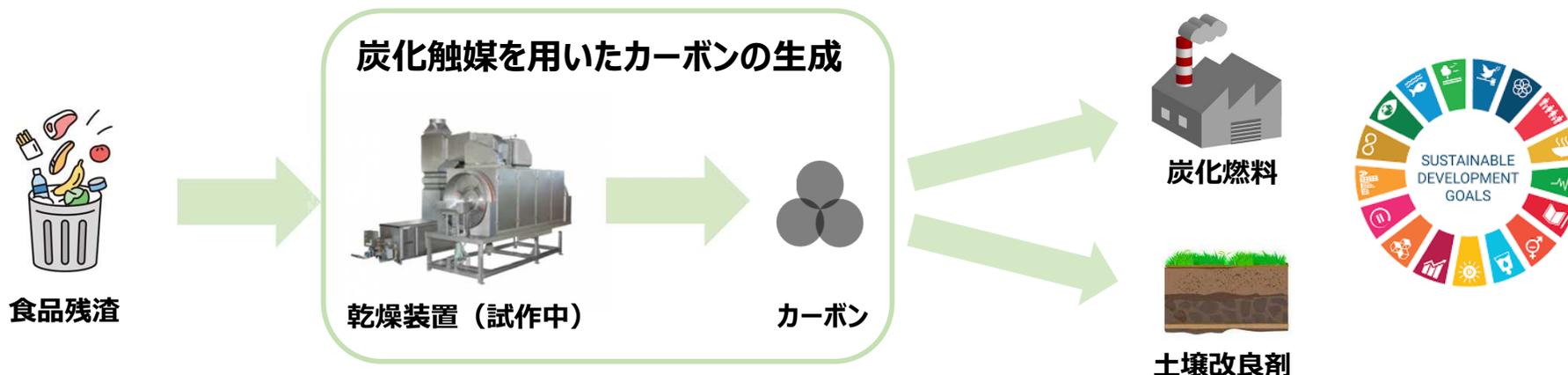
東南アジアを中心に需要が拡大している「食肉加工機」へ当社主力製品を納入



トリガス マークⅢ
株式会社前川製作所様

環境ビジネス サークュラーエコノミーソリューション

食品残渣から炭化燃料や土壌改良剤へ変換する装置開発への取り組み

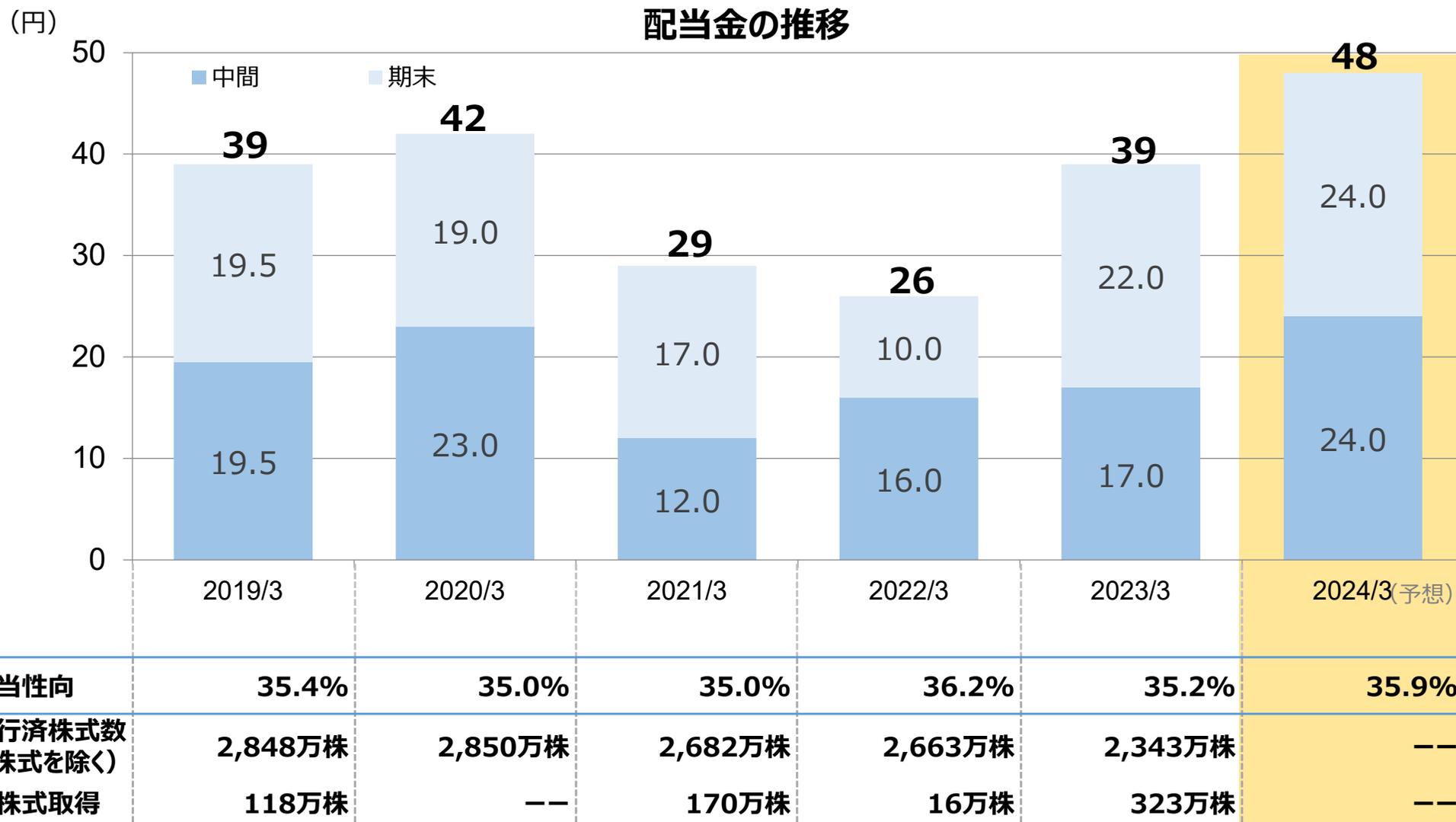


4. 株主還元

配当予想及び株主還元

配当方針

堅実性と成長性を併せ持った「健全経営」を確実に推し進めていくため、将来の事業展開と企業体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ配当性向35%を基準指標に安定した配当の維持継続に努める



配当予想及び株主還元

自社株買いや自己株消却を積極的に実施し、株主還元に努めております。

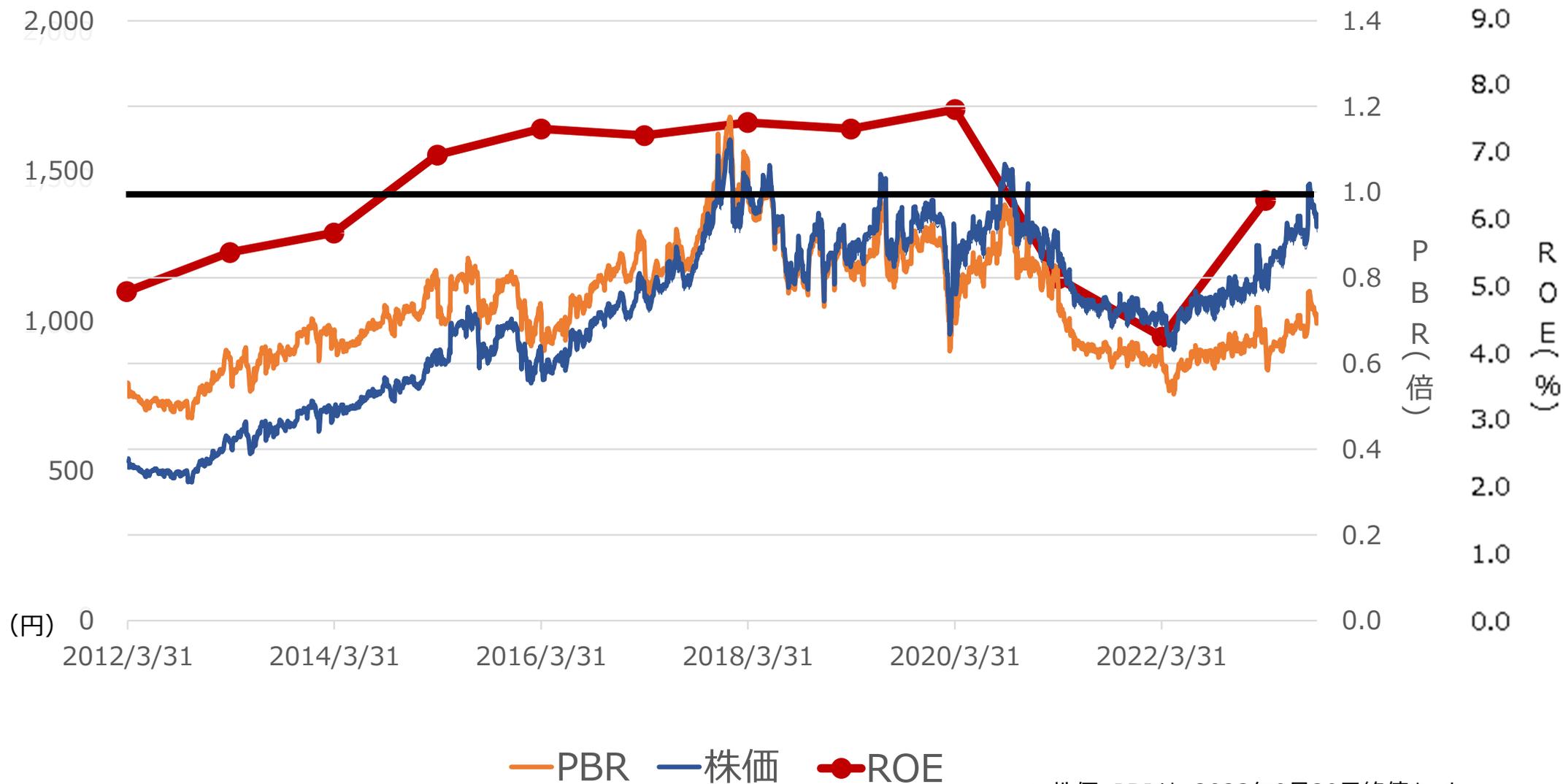
総 数(2015年から2023年12月現在まで)

自社株買い **11,676**百万円 / 約**1,100**万株

自己株式消却 **32.4%**の消却

34,907,025株(2015年12月末)、23,600,000株(2023年9月末)

株価パフォーマンス



※株価、PBRは、2023年9月29日終値までを表示しております。

株主優待制度

贈呈品：クオカード 年2回（3月末、9月末）

対象：毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に記載
1单元（100株）以上を保有されている株主さまを対象

	継続保有期間	1年未満	1年以上
持株数			
100株以上		500円分	1,000円分
1,000株以上		1,000円分	3,000円分

継続保有期間は、当社株主名簿に記載された「株主番号」が同一であることを確認し、毎年3月31日および9月30日に確定いたします。なお、保有する当社株式の全てを一旦売却するなど、株主名簿に記載される「株主番号」が同一でなくなるという記載の連続性が途切れる場合は、保有期間が変わりますのでご注意ください。

配当・株主優待シミュレーション

1 株当たり年間配当額 **48円** (2024年3月予想)

株価**1,473円**(11/30終値) 単元株**100株**保有の場合

予想配当利回り \div **3.26%**

株主優待を考慮した場合の100株保有の実質利回り

①年間配当額	4,800円
②年間株主優待相当額	1,000円(1年未満：クオカード500円×2)
①+②合計	5,800円÷1,473円 \div 3.9%

予想配当利回りについては税引前の金額を対象としています。

ご購入の際に必要な証券会社売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引先の証券会社にお問い合わせください。

Electronics Solutions Company

KANADEN

〈お問い合わせ先〉

〒104-6215

東京都中央区晴海1-8-12トリトンスクエアZ棟

経理部 財務企画課

E-mail:info-pr-ir@kanaden.co.jp

TEL:03-6747-8805

FAX:03-6747-8710